

教育学部附属中学校における情報教育の現状

教育学部附属中学校 浜坂 昌明

1. はじめに

中学校は、平成7年9月に平和町へ移転した。当時、校舎内にイーサーネットが張られ、コンピュータルームが設けられていたが、予算の都合で部屋の中は空であった。半年後、ようやく予算がつき、コンピュータ53台（ノート型を合む）と校内ネットワークの整備が行われ、平成8年9月より本格的に使用するに至っている。本校のコンピュータ事情と情報教育の現状について論じたい。

2. コンピュータ設置状況

1台のパソコン（CPU Pentium133MHz）のメモリーとHDを拡張し、サーバー機として使用している。OSにはWindowsNT3.51を使用し、WWW、FTP、メールサーバーの機能をもたせ、24時間運転している。（<http://futyu.ed.kanazawa-u.ac.jp>）

3階のコンピュータルームには、生徒用40台、教師用2台のコンピュータがあり、そのどれもが校内ネットワークに接続でき、さらにはインターネットと接続できるようになっている。

教室をはじめとした各研究室にも、校内ネットワークに接続するための情報コンセントが設けられている。教官や職員全員に、メールアドレスが割り当てられており、日本国内だけではなく、世界中の人々とメールのやりとりを行っている。また、インターネットによる資料収集等も行っている。

3. 本校の情報教育

附属小学校から約75%（約115名）、附属小学校以外の小学校から約25%（約45名）が入学している。中学生になって、生まれてはじめてコンピュータに接する生徒も数十名いる。

学校においてコンピュータを使う場合、「コンピュータに関する教育」と「コンピュータを活用した学習指導」とが考えられる。「コンピュータに関する教育」の中には、コンピュータの基本操作、基本的応用ソフトの活用、情報化社会の特質と人間に対する影響、情報に対する責任感など情報活用能力として幅広い概念を包含し、各教科での「コンピュータを活用した学習指導」と併せて、「情報教育」として位置づけられている。

現行学習指導要領では、技術・家庭科に選択領域ではあるが、「情報基礎」が設けられた。これを1年生で履修し、他教科でのコンピュータ利用を推進できればよいのだが、必修領域の関係もあり、3年生で学習している。したがって、ある教科で「コンピュータを活用した学習指導」を行おうとすると、コンピュータの基本操作の指導から始めることが必要になる。そこで、本校では、1年生の最初の時期に初歩的な「コンピュータに関する教育」ができないかと考えた。小学校とは違い教科担任制の授業となっているため、まとまった時間の確保が難しかった。平成9年度は、英語科が週4（3+1）時間の授業の内、1時間分をコンピュータの時間に1学期間抛出することになり、約12時間確保

できた。(2学期以降はその1時間分は、外人講師の時間になる。)

このコンピュータの時間に、

- ①コンピュータルーム使用のきまり
- ②Windows95 の基本操作
- ③タッチタイプのすすめ(市販ソフト「もぐらたたき」使用)
- ④日本語入力の方法
- ⑤ ワードプロソフトの練習…学習クイズデータの入力(フリーソフト「ごたくどす」のクイズデータの作成)

の内容の授業を、チームティーチングで行った。インターネット関係や情報に対するモラルや責任感についての教育までは、時間の都合でできなかった。2学期以降、その授業を行い、各教科での「コンピュータを活用した学習指導」を推進したいと考えている。

今回のコンピュータの時間で、強調したことの一つに、タッチタイプのすすめがある。すぐに身につくわけではないが、情報化社会を生きていく生徒たちにはこれから必要となる能力の一つと考えている。タッチタイプの定着効果がどれくらい表れてくるか、今後追跡調査等を行おうと考えている。

また、今年から始めた1年1学期の「コンピュータの時間」をきっかけにして、多くの教科で「コンピュータを活用した学習指導」が行われることを期待している。

4. 研究発表会でコンピュータルームを初公開

平成9年5月30日に行われた第46回研究発表会において、英語科と技術・家庭科の授業を公開した。

(1) 英語科(松井教諭)

市販ソフト「耳タコランド」を用いた会話表現の練習から始まった。そして、インターネットを利用して、日本の文化がどのように外国で紹介されているかを調べながら、各自が日本の文化について英語で記述するという授業であった。

(2) 技術・家庭科(中村教諭)

各自が、サーバーからデジタルカメラで映した画像データを取り込み、栽培日記を作成する内容の授業であった。

5. 「グローブ計画」文部省指定校に

「環境のための地球学習観測プログラム」(Global Learning and Observations to Benefit the Environment)は、全世界の幼児・児童・生徒・教師及び科学者が相互に協力しながら、地球規模の環境を学習する環境科学および環境教育のプログラムで、学校を基礎とした国際的なネットワークである。GLOBEは、アル・ゴア米国副大統領によって提唱され、1994年のアースデイ(4月22日)に活動を開始した。現在およそ50カ国がこのプログラムに正式に参加し、GLOBEに取り組んでいる学校は世界で3000校を超える。

参加学校の生徒達がおこなう活動は

- ・学校内や近辺での一連の環境観測
- ・GLOBEアメリカのデータ処理センターへインターネットを介してのデータ送信
- ・世界中のグローブ参加校が送ったデータから作られたイメージ画像の利用
- ・環境に関する学習

である。

このグローブ計画の平成9・10年度モデル校の文部省指定を受けた。本校での実質的な活動は、平成9年9月より実施するが、インターネットを活用した情報教育や国際理解教育、そして環境教育が一つに結びつくプロジェクトと考えている。

6. 今後の課題

Windows95 が不安定なのか、平和町団地と角間との回線が細いためか、コンピュータールームで40台同時にインターネットに接続しようとする時、必ず2～3台のコンピュータが止まってしまう。さらなるインターネット環境の整備を強く望んでいる。

また、中学生段階になると、いろいろなホームページ（わいせつ、暴力等）へ接続しようとする。そのため現在、コンピュータールームは先生の直接指導のもとに使用している。しかし、コンピュータールームを開放しない間は、情報教育はこれ以上進展しない。そこで、コンピュータールーム開放に向けて、フィルタリングソフト等の導入や情報モラルの教育を進めていきたいと考えている。また、ホームページでの情報公開についても、現在本校では、その基準について検討している。

Welcome to Kanazawa Fuchu Junior High School! English Page is here.

金沢大学教育学部附属中学校



Since September 1, 1996
1998年1月20日更新

〒921-8105 石川県金沢市平和町1-1-15
TEL 076(226)2121
FAX 076(226)2122

このページは、インターネット・エクスプローラ3.0以上でご覧になることをお祈りします。

平成10年度 生徒募集要項 なお、詳細は必ず本校に電話でお問い合わせください。

平成9年度 文化祭 1年生「シルエット劇」 NEW!

壁画「ブラックホール」

壁画「夢の鏡」

3年生(48期生)の英語による「金沢紹介」

学校長挨拶	本校の使命	教育目標	沿革	生徒会
教職員	校舎外観	校歌	讃歌	
		(ダウンロード)	(ダウンロード)	